

# 汎用デジタルデバイスを用いた研究開発

ダムとトンネル  
福井高専 環境都市工学科 三年  
○寺前 海斗 野々垣 修慶

## 一乗谷 福井県福井市



戦国時代の  
武家屋敷再現街並み

## 低コスト＋汎用性



デジタルカメラ

一脚

汎用デジタルデバイスを用いた研究開発は、既存のレーザースキャナーに代わる新たな3Dモデルの作成方法です。

使用した機材はデジタルカメラと一脚です。研究の対象地域は、福井県福井市の一乗谷です。

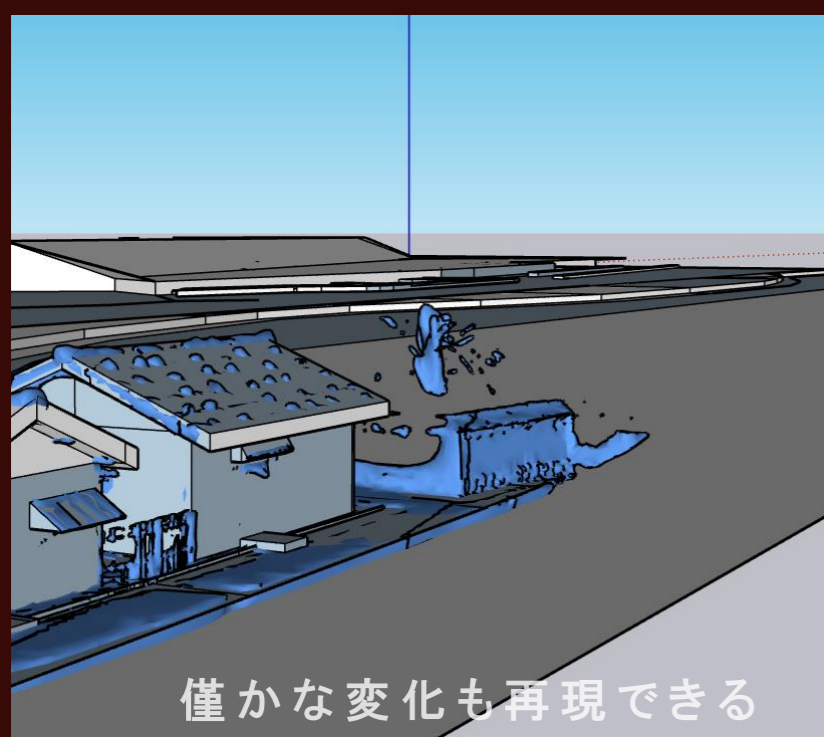
研究開発の目標は、戦国時代の武家屋敷の街並みを3Dモデルで再現することです。これによって、文化財の現状が把握できます。現状の技術レベルでは、建築物の再現に加えて、土地の起伏も再現できます。

ここで得られた技術を用いることで、3Dモデルは様々な場面で活用できます。その適用事例として、無人レジシステムが想定できます。

店舗の無人化はこれから更に普及します。これに合わせて、新たな付加価値として、防犯対策が必要となります。

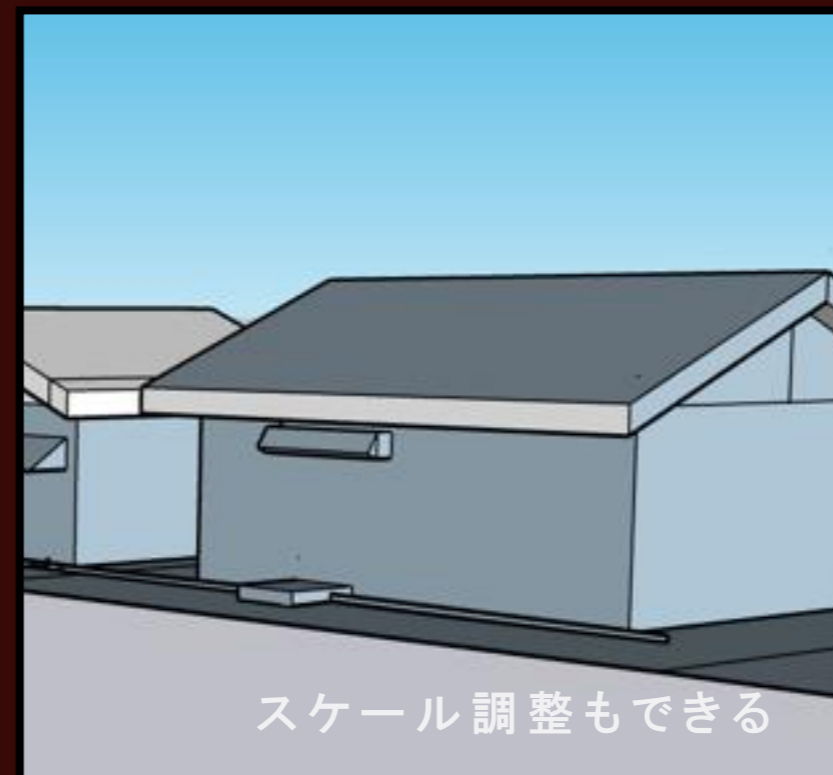
本研究で開発した技術は、万引き防止などの新たな対策に利用できます。

## 地形の再現



僅かな変化も再現できる

## 建築物の再現



スケール調整もできる

## 無人レジシステム

